

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トゥルース・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トゥルース・パール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

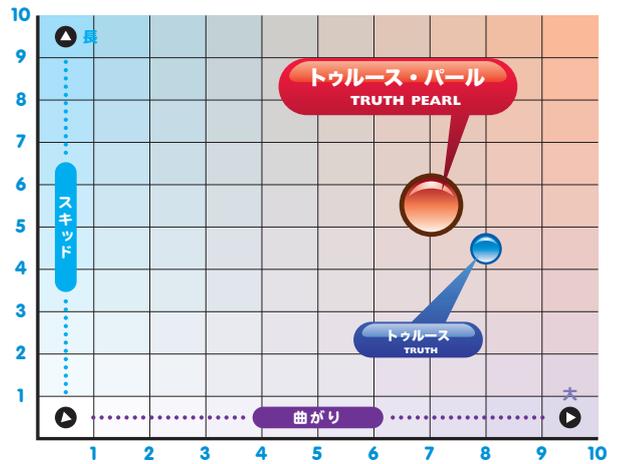
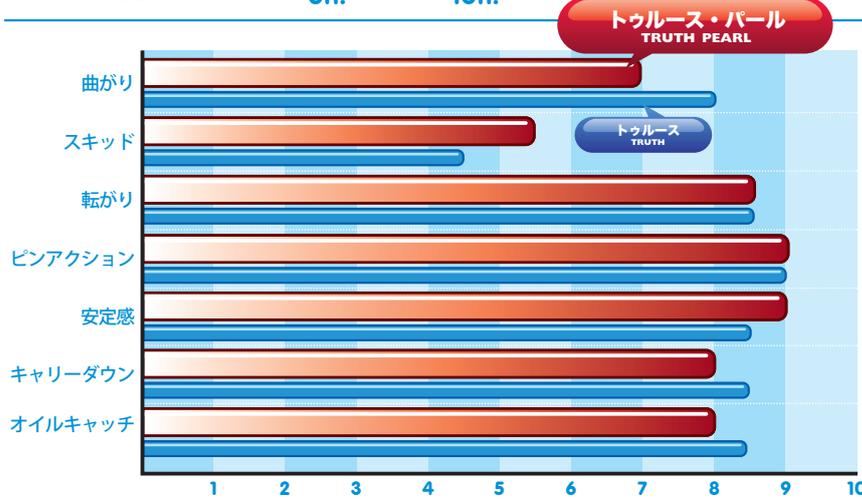
比較対照ボール：インセプション

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Tour Engineered 900 SeriesのINCEPTIONとINCEPTION PEARL、Prime 800 SeriesのTRUTHとTRUTH PEARL。この二つのシリーズはAdapter CoreをSymmetryとAsymmetryに分類し、S74R CoverstockをベースにSolid・Pearl Coverstockを使い、CoreTechnologyの強さをそのままPerformanceの違いで表しているシリーズです。S74R Pearl Coverstock、Adaptor/D Asymmetric Coreで発売されたINCEPTION PEARLはINCEPTIONと比べS74R Solidよりも長くクリーンなスキッドを実現。バックエンドで動きがさらに加速するように新しく調整されました。回転しやすく△RGの高いコアでフレア幅が大きく、バックエンドの動きが強調されました。今回のTRUTH PEARLはS74R Pearlで同じCoreのSymmetryでの発売です。

市場調査ではINCEPTION PEARLはしっかりと走りはですが、先での動きが協調されて暴れるというイメージを持たれる方も多そうです。私の場合はINCEPTION PEARLのほうがTRUTH PEARLよりも曲がり始めが早く、曲がり始めてからの動きにフリッピングな加速を感じます。たいてはTRUTH PEARLは曲がり始めはやや遅れるものの、暴れる印象はなく”丸くキレル”感じが非常に扱いやすく、曲りはじめから終わりまで”俊敏な動きの中のコントロール性”を感じました。

この二つに使用されているS74R Coverstockは900Global社の中でも軸となるもので、S74Rを基準に上下のSolid・Hybrid・Pearlが展開されています。特にS74RのPearl Coverstockはスキッド、オイルキャッチ、ドライゾーンでのリアクションが多くパワーに幅広い対応領域を提供できるバランスの良いCoverstockだと思います。

多くのボールが発売される中、メインのボールを探している方はこのTRUTH PEARLがおすすめです。コントロールしながら、しなやかに柔らかくキレルリアクションは900Global社の中でも1・2を争う仕上がりだと思います。

特記事項

S74 Pearl ReactiveとAdapter Coreの組み合わせでは、INCEPTIONよりもTRUTH PEARLのほうがコントロール性能が良い感じます。INCEPTION PEARLと投げ比べればわかる、カバーとコアのマッチングは最高です。